

Safety Report

セーフティレポート 子ども②

親子で交通安全意識を高めてもらう Honda の関連企業による周辺地域への活動

Honda の部品サプライヤーである合志技研工業(株)(熊本県合志市)などの企業で構成される蓬原工業団地工業会が5月12日、親子交通安全教室を7年ぶりに開催した。入園・入学から1ヵ月を迎える5月頃は、新しい生活に慣れた子どもの交通事故の増加が懸念される。この教室は、子どもには事故の危険や怖さ、保護者には自らが事故を起こさないための知識と子どもの行動特性を理解していただき、家庭における交通安全意識の向上につなげることを目的としている。

この教室を開催した背景を同社管理部総務ブロック主幹 大住和宏さんは次のように話す。「私は昨年7月にHondaによる養成研修を受講し、Hondaパートナーシップインストラクター※1(以下、HPI)の認定を受けました。HPIとして、周辺地域に暮らす子どもたちが交通事故に遭わないようにするため、親子交通安全教室を実施したわけです。以前よりも充実した内容にしたいと考え、工業団地内の企業だけでなく、地元の合志市や熊本北合志警察署/交通機動隊、JAF(日本自動車連盟)に協力をお願いしました」

会場となった合志技研工業(株)には親子92名が集まった。最初は子どもと保護者が分かれての座学。子ども向けには、「できるニャンと交通安全を学ぶ※2」を使って、「止まる・観る・待つ」の重要性を説明。保護者には、大津地区交通安全協会の交通安全教育講習員が子どもの行動特性と交通事故の特徴を伝えた。

その後、親子が一緒になり、屋外での交通安

全教室が始まる。HPIが飛び出し事故や左折巻き込み事故を再現し、「道路を渡る前に止まって右、左、右を観て安全を確認する」「交差点などでは左折するクルマに巻き込まれないために、クルマの横には近づかない」といった事故に遭わないためのポイントを強調した。この他、JAFによるシートベルトコンビンサー体験(5km/hの衝突体験)や白バイ隊員によるデモンストレーションなども行われた。

4歳の子どもと来場した父親は「飛び出しやクルマの死角の怖さを、あらためて実感しました。家庭でも子どもに繰り返し注意するようにしたいと思います。今日は白バイのデモンストレーションなどもあり、大人の私も楽しく過ごせました」と感想を語った。また、子どもが小学校に入学したばかりだという父親は「地区の回覧板で、この教室のことを知り、参加しました。事故の再現を間近で見られるなど、貴重な体験ができました。事故の怖さが子どもに伝わったと思います」という。

親子交通安全教室を終えた大住さんは「皆さんが笑顔で帰られる様子を見て、実施して良かったと思います。今後も、市や警察など関係団体と連携し、継続的に開催していきたい」と力強く語った。

※1 Honda の関連企業内で交通安全指導を担うインストラクター。Honda の交通教育センターでの養成研修を受講した関連企業の社員が認定される。
※2 「できるニャン」というオリジナルキャラクターを使って、アニメーションや体操で幼児が楽しく学べるように工夫された交通安全教育プログラム。詳しくは以下のホームページを参照。https://www.honda.co.jp/safetyinfo/nyan_safety/



合志技研工業(株)のHPIが親子に事故防止のポイントをアドバイス



人形を使った飛び出し事故の再現



大型車の内輪差による左折巻き込み事故の再現



運転席から見えない死角を示す実験



「できるニャンと交通安全を学ぶ」を活用した子ども向けの座学

Safety Info.

インフォメーション

安全運転技術と実技指導力の向上をめざす 第19回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会

6月6日、7日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センター(三重県鈴鹿市)で「第19回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部、後援:(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会、本田技研工業(株)法人営業部)が開催された。同大会は、「安全運転指導力向上のための自己研鑽への動機づけ」と「教習所間の情報交換と交流」を目的に2001年より毎年開催されている。今大会には28都道府県78校から135名の選手が参加し、20校23人の教習指導員が審判員として協力した。

競技は普通二輪部門、大型二輪部門、四輪部門の3部門に分かれ、教習指導員としての正確な判断力と操作で各4つの種目で安全運転技術を競った。

二輪競技:ブレーキング、パイロンスラローム、一本橋、コーススラローム

四輪競技:ブレーキング回避、フィギア、縦列駐車・車庫入れ、コーススラローム

また、これらの競技に加え、グループディスカッ

ション形式で意見を出し合い、安全な実技講習会運営について学び合う「実技指導力」を実施した。

普通二輪部門総合1位のドリームモータースクール昭和(長野県)・丸山圭一さん、同2位のドリームモータースクール須坂(長野県)・小野寺雄哉さん、大型二輪部門総合1位の月の輪自動車教習所(滋賀県)・河端淳史さん、同2位のネヤガワドライビングスクール(大阪府)・井上大樹さん、四輪部門総合1位の山城田辺自動車学校(京都府)・中川隆彦さん、同2位のドリームモータースクール昭和(長野県)・高野朋弥さんには、全日本指定自動車教習所協会連合会会長賞も贈呈された。



実技指導力



全国の教習指導員135名が普通二輪部門、大型二輪部門、四輪部門に分かれ競技に取り組んだ



大型二輪部門パイロンスラローム



四輪部門フィギア